





# 国家秘密法

# 国会再上程を阻止しよう

八五年六月に「国家秘密に係るスパイ行為等の防止に関する法律案」(国家秘密法)が国会上程された。しかし、法案の対象とする範囲があまりにも広くかつ最高刑が極刑であることににより、同 年十二月には廃案へと追い込まれた。

## 欺瞞的な修正案

### 修正案

この「修正案」は、以前の案と比較すると、小手先で批判をかわし、実体をそのままにして法案成立をはからうとする欺瞞そのものである。

この集会では、全国から「障害者」、医療従事者の団体と個人が参加し、また日雇全協ぐんばーを中心とする戦闘的労働運動の代表も出席した。

## 精神衛生法撤廃全国連絡会議が結成集会

精神衛生法「改正」案の国会上程を許さず、現行精神衛生法そのものの撤廃をめざして一月十四日に「精神衛生法撤廃全国連絡会議(撤廃連)」が結成集会を開いた。

この集会には、全国から「病者」、医療従事者の団体と個人が参加し、また日雇全協ぐんばーを中心とする戦闘的労働運動の代表も出席した。

この集会では、宇都宮病院での患者虐殺事件が国連(人権小委員会)で

大々打ち出された。

以降、「精神障害者」を排除している。

たゞ、宇都宮病院(石川文之進)

に発覚した宇都宮病院での患者虐

殺事件が国連(人権小委員会)で

とあがられたことを口実に夏生

大臣から打ち出された。

そこで、「精神障害者」を排除している。





